

あなたと議会をつなぐ

つばた

議会だより

No. 171
2024.10.5

史実か浪漫か

火牛の計



義仲の寝覚めの山か 月かなし

松尾 芭蕉

7月・9月会議

- P2 のるーと津幡
- P5 一般質問
- P13 議会広報研修
- P14 議会と語ろう会

広がるエリア広がる期待
11人が登壇

議会だより紙面リニューアル
地域住民の切実な声



津幡かるた表紙シリーズ 第6弾

7月会議
(7月18日)

議案5件・意見書1件
(全議案の採決結果は11ページ)

7月会議では、一般会計5360万円の増額補正予算などを可決しました。
主な内容は、地震による津幡運動公園などの災害補修費や大の里関幕内最高優勝祝賀パレード開催費です。
7月会議のピックアップは、小学生に加え未就学児にも木育施設無料利用券を配布した事業です。

町内在住未就学児を対象

県森林公園内に
7月20日オープン
屋内木育施設
もりのひみつきち

無料利用券 配布

森林公園活性化対策事業費 145万円



時々、
無料利用券が
欲しいです

こんなに
近くにできて
うれしいです

▲遊具の一部に、障がいの有無などに関わらず、あらゆる子どもが遊べるインクルーシブエリアが設けられている

Point!
森林公園で木育体験しよう

- 1 木育は子どもをはじめとするすべての人びとが、木とふれあい、木に学び、木と生きることを学ぶ活動です。
- 2 もりのひみつきちは、幼いうちから木育体験ができる施設となっています。
- 3 ほかに、木製遊具が楽しめるフィールドアスレチック、森林の機能を学べるインフォメーションセンターがあり、森林公園全体が木育体験の場となっています。



議会の視点 待望！
全天候型の遊び場

6月補正予算で、町内在住の小学生や保護者にも無料利用券が配布され、夏休み期間中、1453枚が使われた。
現在はリピーター客も増え、年間パスポート券の利用も好調である。子どもたちに一層の木育を推進してほしい。

9月会議
(9月4日～11日)

議案15件・請願1件・同意2件
一般質問には、11人が登壇(5ページ～)
(全議案の採決結果は11ページ)

9月会議では、一般会計5億1260万円の増額補正予算のほか、条例の一部改正などを可決しました。
補正予算の主な内容は、常設相撲場改修工事や宅地耐震化推進事業費、災害応急救助費などです。
9月会議のピックアップは、条例改正されたのーと津幡のエリア拡大についてです。

※金額はすべて1万円未満切り捨てで記載しています



広がるエリア

車両を2台増車

広がる期待

のーと津幡の詳細は
広報つばた10月号

車椅子にも対応するなど
さまざまなニーズに応える

のーと津幡に期待する「コメント」

車椅子や歩行器で
乗り降りの際は、
段差のない
ところで
停車して
ほしいです。
(井上の荘)



何人かのグループで、
おでかけもできたら
楽しそうですね。
(浅谷)



家の近くまで
来てくれるのは、
ありがたいです。
(別所)



早速、アプリを
登録しました。
エリア拡大が
待ち遠しいです。
(浅谷)



県道沿いにしか
なかったバス停が、
集落内に
できて
楽になります。
(東荒屋)



ほかにも
こんなところに期待
・通勤・通学時間帯の
予約困難の解消を
・車両も増加され、より
正確で時間通りの運行を

議会の視点 新交通システムは
地域の足となれるか

エリア拡大による中山間地域への乗り入れは、高齢者の生活や買い物、通院の足としてなど、利便性の向上に貢献できる。
また、高齢者の運転免許の返納率アップにも期待でき、安全安心にもつながる。
一方、今回追加されたエリアと旧エリアをまたぐ場合、1区間の乗車であっても料金は300円となる。混乱を防ぐためには、料金体系について丁寧な周知が必要だ。

のーと津幡
ここが売り

生活環境課より
BEST 3



区域内なら乗り換えなしでどこまでも



路線バスよりも自分の予定に合わせやすい



さまざまなキャッシュレス決済に対応

都市建設課

住宅の耐震化を図るために

Q 住宅耐震診断の申請状況は。
 A 旧耐震基準の住宅で3件、新耐震基準の被災住宅では5件の相談があった。

Q 住宅耐震改修工事補助金の申請件数と補助額は。
 A 2件の申請があり、最大250万円の補助となる。

生涯教育課

大の里関・欧勝海関につづけ!

Q 常設相撲場の改修内容は。
 A 土俵と観覧席の改修、車椅子スペースの設置、屋根と支柱の塗装などである。



来年3月ごろ完成予定

教育総務課

GIGAスクール加速

Q 電子黒板102台はどこに配置するのか。
 A 各小学校の普通教室(特別支援学級を含む)に配置する。



デジタル化でより分かりやすく

税務課

国民健康保険マイナ保険証の登録を

Q 町の登録状況は。
 A 登録は6月末で66パーセント、利用率は17パーセントである。

Q 登録方法は。
 A 町民課の窓口やスマホなどのマイナポータルでも手続きができる。



総務課

災害復旧に頼もしい力

Q 町に派遣された災害応援技術職員の業務内容は。
 A 下水道事業に従事している。県が公募し任用した技術職員であり、期間は7年3月まで。

上下水道課

道路陥没の原因は

Q 町内各所で下水管に沿って、道路が陥没している。原因は。
 A 地震による地盤の液状化が原因の一つと考えられる。現在、道路の応急復旧と共に下水道の点検復旧作業を進めている。



補修予定の町道

意見書 請願・討論

7月会議に提出された意見書と9月会議に提出された請願の結果をお知らせします。請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるときどなたでも提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

可決

委員会発議で意見書を提出

学校給食の無償化制度の構築を求める意見書

◎提出者 町議会運営委員長 谷口 正一

義務教育では、授業料や教科書が無償化されていることと同様に、学校での食育に必要な給食も無償化すべきである。全国の約4割の自治体が無償化または一部補助を行っているが、国内すべての学校の無償化実施には、国の関与が必須である。よって、学校給食の完全無償化の実現のためには、国が主体となって制度を構築するよう、強く要望する。

不採択

新型コロナウイルスワクチンについて国民に十分な情報提供を行うことを求める意見書を送付する請願

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也 紹介議員 中島 敏勝

委員会の主な意見

- ・予防接種健康被害救済制度において約8000人が認定されている。個人が接種する際の判断材料を示すことは必要だ。
- ・ワクチン接種に否定的な考えがあるように思える。任意の接種でもあり、今になって意見書を提出する必要はない。

請願に対する討論

賛成

政府は、ワクチンの安全性や予防効果の検証と接種後の副反応や重症化率などについて、国民への説明が不十分である。命と健康に関する適切な判断を行うためにも、正確な情報提供とさらなる周知が必要だ。 中島 敏勝 議員

町政を問う

一般質問

学校給食

今こそ給食費の無償化を

答弁 国の動向を注視する



しおたに みちこ 塩谷 道子 議員



楽しい給食の時間 (イメージ)

Q 食料品などの物価高騰により経済的に苦しい状況にある保護者も多く、今こそ学校給食の無償化が求められている。食育の面からも給食費を無償化にできないか。

A 現時点で無償化する予定はないが、引き続き国の動向を注視する。

本町では、条件付きで経済的理由により、就学が困難と認められる就学援助世帯と多子世帯の保護者が対象となっている。

また、5年7月豪雨・6年能登半島地震で大きな被害のあった世帯の給食費も一定期間無償とした。

これも質問

交通費の無償化

Q 高校生の電車・バス通学費を無償に。
 A 現時点では全額助成する制度は考えていない。

町営住宅

答弁

見直しが必要な時期である

建て替えや長寿命化計画は



こまち みのる
小町 実 議員

Q 老朽化や地震災害などで使用できない町営住宅がある。現時点で住める戸数は。

A 住める町営住宅は40戸。地震で被災した14戸は住むことはできない。

Q 今後の建て替え、増設や長寿命化計画は。

A 近年は入居希望者が少ないので増設は考えていない。耐用年数を大きく超えたり、被災した町営住宅は建て替えも含めて検討している。長寿命化計画についても見直しを考えている。



改修中の町営住宅

これも質問

災害をふりかえる

Q 災害を見つめ直し、アンケート調査を実施できないか。

A 現時点で実施する考えはない。必要に応じて区長などにヒアリングを実施して、課題の整理をしていく予定だ。

町道管理

答弁

農家・生産組合の協力をお願いしたい

農地隣接の町道のり面の除草は



いけの しょうご
池野 翔吾 議員

Q 農地に隣接する町道のり面の除草は慣例的に農家が行っている。実施農家に報酬や資材費を出すべきでは。

A 町道のり面の管理は道路区域内であれば町の管轄、農地に隣接するのり面は農家や地区生産組合と連携して環境維持に努めている。



のり面の草を刈る高齢者

これも質問

ひとまず着地点を

Q 大河ドフラマ誘致の目先を変えよ。

A 6県35市町村で連携協力しており、誘致活動は継続する。今後も効果的な手法を調査研究していく。

都市交流

答弁

友好都市の締結について検討したい

糸魚川市と相撲を通じ友好関係を



しばた よういち
柴田 洋一 議員

Q 大の里関と欧勝海関の出身校、海洋高等学校がある新潟県糸魚川市でもパブリックビューイングが行われ、本町と同じく盛り上がりを見せている。両力士のつながりで友好関係を結び交流の機会を。

A 交流人口の拡大を目指した友好都市の締結で、広域的で多様な連携と交流によるまちづくりを進めていくことは意義があると考えている。普段から多くの交流の機会を持てるかを考え、友好都市の締結について検討したい。



夏場所での大の里関 優勝の瞬間（糸魚川市）

これも質問

コンビニにAEDを

Q いざという時にAEDにたどり着けるようコンビニにAED設置を。

A コンビニにAEDが設置されれば心強い方策ではあるが、効果があるのはコンビニ周辺に限られるので、設置は考えていない。

復興基金

答弁

引き続き情報共有に努める

独自事業への被災者ニーズ反映は



たけうち たつや
竹内 竜也 議員

Q 創造的復興には誰一人取り残さない支援が必要といわれるが、それには何が必要と考えるか。

A 今後も、被災者や被災事業者に寄り添い、町民の生活が被災前の水準まで戻るよう支援する。

Q 復興基金の市町村配分による独自事業の実施にあたり、被災者ニーズをどのように反映させるのか。

A 区長や関係機関と情報共有する。枠配分を活用し幅広い支援を行う。



誰一人取り残さない支援を

これも質問

5歳児健診の実施へ

Q 成長や発達に重要とされる5歳児健診に対する認識は。

A 5歳ごろは発達障害や知的障害など、個々の特性が認知されやすい時期であるため、早期に把握することが必要な支援につながると考える。

石川県
創造的
復興プラン



新しい方式の病院運営を

河北中央病院

答弁 プロジェクトチームで検討中



にしむら みのる 西村 稔 議員

Q 公立河北中央病院では、新しい病院のあり方として各診療科をテナント方式で運営したらどうか。

A 新病院の整備にあたり、すでに検討項目の一つとして考えている。

本町をはじめ近隣市町からの利用者とその家族が安心して利用できるよう、引き続き医療体制を整えつつ健康を守る立場や予防医療を行う役割をも担っていく。



移転改築が待たれる河北中央病院

これも質問 請負業者選考委員会

議員と町民代表を入れるべきでは。

A 入札から契約までは予算執行に関する行政業務の一部であり、議員や町民代表を入れることは想定されていない。

防災

個別避難計画の進捗は

答弁 1736人が作成済み



みちしたまさひろ 道下 政博 議員

Q 森本富樫断層地震が心配される。個別避難計画の策定進捗状況は。

A 7月末現在、1736人が登録を希望し、個別避難計画を作成している。

Q 段ボールベッドの備蓄数と民間企業との協力態勢は。

A 町の備蓄倉庫に9台を備蓄。企業と協定を締結し、可能な限り必要数を確保できる。

Q 避難所で清潔なキッチン、トイレ、快適なベッドの設置は可能か。

A 国や県などの支援も受けながら避難所の環境改善に努める。



仮設トイレ設置の様子

これも質問 HPVワクチン

子宮頸がんワクチン接種特例期限が迫る。接種勧奨に最大限の努力を。

A 広報やホームページ、SNSなどを通じ、医療機関とも連携しながら、接種の検討や判断が適正に行えるよう接種勧奨に努める。

総合相談

こども家庭センターの開設を

答弁 7年4月に開設予定



あずま かつひこ 東 克彦 議員

Q 妊産婦や子育て世帯、子どもを対象に母子保健と児童福祉の両機能が一体的に相談支援できるこども家庭センターを整備せよ。

A 7年4月に開設予定とし、人員や体制の強化を進めている。

組織体制としては、子育て支援課の子ども家庭総合支援室を、こども家庭センターに移行し、関係部局の職員もセンターに従事する予定である。



気軽に子育て総合相談できます

これも質問 中学校特別支援学級

学習到達度にかなり差があるが、その対応は。

A 一人一人異なった教育課程を編成して時間割を組んでおり、生徒の状態や発達段階に応じて柔軟に対応していく。

復旧復興

地震被害による神社再建の支援は

答弁 最大1200万円を補助する



こくら いちろう 小倉 一郎 議員

Q 県の復興基金を活用した神社再建事業の概要と今後のスケジュールは。

A 神社などの再建に係る、地域コミュニティ施設等再建支援事業があり、事業費の4分の3、最大1200万円を補助する。詳細が決まり次第、10月に補正予算を計上したい。

Q 損壊した鳥居や灯籠などの再建や撤去費用に公的支援はあるのか。

A 撤去費用は生活環境課に相談してほしい。外構のうちどの部分が復興基金の対象となるか詳細が決まり次第伝える。



住民有志で建てる手作りの鳥居

これも質問 車の安全装置

後付けのペダル踏み間違い防止装置に助成制度の創設を。

A 助成制度を具体的に検討する。

採決結果

審議議案と議員の賛否

7月会議 (7/18) ・ 9月会議 (9/4 ~ 9/11)

○：賛成 ×：反対
 欠：欠席 除：除斥
 退：議場に不在（棄権）
 -：議長は採決に加わらない

議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	結果	議員															
		1池野翔吾	2柴田洋一	3東克彦	4中島敏勝	5小倉一郎	6小町実	7竹内竜也	8八十嶋孝司	9西村稔	10酒井義光	11塩谷道子	12多賀吉一	13向正則	14道下政博	15谷口正一	16河上孝夫
7月会議																	
議案 5件 議案の一部を3ページで紹介																	
令和6年度町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請負契約の締結について 5災219号準用河川笠野川河川災害復旧工事 契約の金額：1億5070万円 契約の相手方：大幸建設株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請負契約の締結について 太白台小学校法面災害復旧工事 契約の金額：8710万円 契約の相手方：大幸建設株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請負契約の締結について 津幡運動公園長寿命化対策工事(運動公園体育館照明) 契約の金額：6698万円 契約の相手方：東田電機工業株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案 1件 5ページで紹介																	
学校給食の無償化制度の構築を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
9月会議																	
議案 15件 議案の一部を2ページで紹介																	
令和6年度町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町バス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町本社機能立地促進のための固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
事務の相互委託の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について のーと津幡車両 2台購入 取得の金額：1294万円 取得の相手方：ネクスト・モビリティ株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について 町立小学校電子黒板 102台購入 取得の金額：3848万円 取得の相手方：三谷産業株式会社情報システム事業部	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請負契約の締結について 6災4757号町道緑が丘17号線道路災害復旧工事 契約の金額：2億7720万円 契約の相手方：大幸建設株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 1件 5ページで紹介																	
新型コロナウイルスワクチンについて国民に十分な情報提供を行うことを求める意見書を送付する請願	不採択	×	○	×	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×
同意 2件																	
河合谷財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて 大澤 松夫氏の選任に同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町教育委員会委員任命につき同意を求めることについて 藤田 順子氏の任命に同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

※金額はすべて1万円未満切り捨てで記載しています

復旧復興

答弁

早期発注・完成を目指す



かわかみ たかお
河上 孝夫 議員

能登半島地震の復旧状況は

Q 都市計画道路住吉線(町道庄51号線)は現在片側通行となっているが、いつごろ全面通行になるのか。
 A 7月末に国の災害査定を受け、今後は詳細な復旧工事の設計を行う。10月初旬までには工事の契約締結を目指し、7年1月末までの工事完了を見込んでいます。



屋内温水プールアザレア前の道路

これも質問 5年7月豪雨

Q 浄化センターと住吉汚水継ポンプ場の復旧状況は。
 A 本復旧は、6年度内の工事完了を目指している。

学校給食

答弁

財政・財源を総合的に判断



なかしま としかつ
中島 敏勝 議員

無償化への財政的課題は

Q 町が給食費無償化に踏み切れない財政的課題は。
 A 5年7月豪雨・6年能登半島地震の災害復旧も道半ばであり財政状況・財源確保などを踏まえ、総合的に判断をしている。



栄養バランスのとれた学校給食

これも質問 定住促進

Q 近隣市町に負けない定住促進を。定住促進のためのガイドブックとして、楽ちかつぱたを刊行。各種施策の紹介のほか、移住者インタビューや近隣市町と比較した交通、土地価格の優位性も掲載している。

プロから学ぶ

(株) 会議録センター
講師 矢嶋 洋美 氏 × 広報調査特別委員会

7/9 議会広報研修

次号ですぐ効く原稿力 今後いかせるデザイン力

現在の広報調査特別委員会のメンバーで、議会だより作成を始めてから1年が経過。もっとたくさんの人に読んでもらいたい！そんな思いから、実際の議会だより編集に携わる現役編集者を招き、研修を受講しました。今号では研修の学びを反映させるため、1ページずつ見直しを行いました。

- POINT ① 町民登場**
みんなで作る住民参加型へ
議会の情報を一方的に発信するだけでなく、町民の皆さんの声を取り上げる機会を増やします。取材のお願いの際はぜひご協力ください。
- POINT ② 見出しが大事**
簡潔でインパクトある表現へ
本文を読んでもらえるように、見出しで読者の目を引き付けます。また、リード文は記事の案内役。本文に興味・関心を引いてもらえるよう心掛けます。
- POINT ③ デザイン見直し**
誰もが見やすい紙面へ
読者目線で考えレイアウトや色使いに配慮します。町民の皆さんには、議会の熱い想いとチャレンジ精神を、議会広報の変化で感じてもらいたいです。



▲今号の議会と語ろう会 (P14～) の紙面レイアウトについてもアドバイスをいただきました
▲前号記事をプロの手によりリメイク

小町委員長 さっそくリニューアルしました！

向副委員長 住民の皆さんの声をいかし、住民目線の編集を心がけます

小倉委員 議会活動を簡潔で分かりやすい内容でお伝えします

東委員 編集を通じて、町民と議会のコミュニケーションを楽しみます

柴田委員 住民の皆さんの声を聞き、住民と共に創り上げる。そんな議会だよりに！

池野委員 楽しみにされる次回が待ち遠しい議会だよりを目指して頑張ります

活動報告

- 7月4日 視察受入 神奈川県清川村議会 常任委員会合同行政視察 議会改革について
- 7月10日 視察受入 福島県猪苗代町議会 経済厚生常任委員会行政視察 移住定住について
- 7月24日 研修会 議長・副議長・委員長研修 議会に関する手続きのオンライン化など
- 8月7日 研修会 河北都市議長会議員研修会 施設見学など
- 8月22日 研修会 石川県町村議会議長会 議員・監査委員会合同研修会 日本の政治・経済の展望

・あそびの森かほつくる
・つどいの森かほつくるプラス

先進地に学ぶ

7/31 テーマ：議会改革の取り組み・住民とのタウンミーティングなど

視察先 長野県軽井沢町議会

今なぜ議会改革が必要か

視察内容 住民に開かれた・信頼される議会へ
住民とともに考える仕組みを

議会の視点 本町でも、議会と語ろう会など町民との意見交換の場を設けたり、議会だよりを手にとってもらうための工夫を行っているが、より町民目線に立った改革が必要であると再認識させられた。

これも議会改革
まずはこんなことから…
若手議員の提案で名称を変更

議会と町づくりを語る会って
ちょっと堅苦しい…
もっと住民に興味を持ってもらうには

タウンミーティングにして、より親しみやすく！
軽井沢町議会議員

軽井沢町議会では、自治体の自主性・自立性が求められる中、議会の責任が増大し、これまでの議会の在り方では立ちいかなくなってきたと、議会改革の必要性を提唱する。いかに住民に信頼してもらえるか。議会報告会や意見交換会を通じ、議会の役割と重要性を理解してもらうための取り組みに力を入れている。

8/1 テーマ：議会だよりを活用した議会情報の発信など

視察先 埼玉県寄居町議会

住民に開かれた議会の秘訣

視察内容 読まれない議会だよりに出す意味なし

議会の視点 町民参加型の議会だよりを強力なツールとして活用することで、今まで以上に議会の見える化につなげていけるのが鍵である。

寄居町議会では、町村議会広報全国コンクールで近年連続して日本一の評価を得ている。町民の顔写真・名前・コメントを掲載し続けることで新たな読み手の発掘にもなっている。政策サイクルの一環として広報広聴を議会全体として実践しており、個々の議員力の向上にもつながっている。

これが日本一の議会だより

読み応えのある特集ページ
審議結果を報告することが主ではなく、審議経過に重きを置いている

全議員で行った視察研修で学んだことを報告します。

11人が参加
秋野台
コミュニティプラザ
7/20
(土)

第1部の議会報告では、町議会のしくみや7月会議で審査した内容を説明し、議会や議員が果たす役割などについて理解を求めました。第2部の意見交換会では、3つのグループに分かれ、日頃から感じている町への疑問や自分の考えを活発に発言していました。

過疎化 学校統廃合 農地荒廃 あふれ出る中山間地域住民の切実な声

道の駅を中心とした地域のにぎわいづくりを

議会の視点

俱利伽羅地区が抱える課題

俱利伽羅地区は、5年12月末で870世帯、2026人が暮らす中山間地域である。10年前の人口と比べると503人、約2割減少した。同時に少子高齢化の影響もあり、刈安、萩野台の両小学校の児童数も著しく減少。深刻な問題となっている。また、地元の店舗も減り、買い物や通院など

日常生活を支える交通手段の充実も求められている。さらに、後継者のいない耕作放棄地の維持管理も課題となっている。一方、ここに暮らす人たちは、祭りの復活を望み、太鼓、獅子舞などの伝統文化継承活動を通して、以前のにぎわいを取り戻そうとしている。住民の地域に対する想いは強い。



地域を想う声

たくさんの意見や課題を頂きました



▲地域の問題を絞り込む



実施報告書



ご意見・ご提言への対応

2月3日開催

議会と語ろう会 (津幡地区) での意見に対する町の回答

意見および提言等に対する回答

A Q 大津波警報への対応を町内の住居区域には津波災害警戒区域の指定はないため、過度に恐れる必要はない。日頃から避難場所の確認をしてもらいたい。

A Q 防災総合訓練のあり方は今回の災害を教訓に、実情に沿った実践的な訓練に見直す。

A Q 町危機管理対策室の機能を総務課長が室長を兼ね、町長の迅速な意思決定につなげる。また、6年度から豊富な経験を持つ警察官OBを配置した。

A Q 定住施策の新たな周知方法をLINEによる広告やインターネット動画の制作など、デジタル技術を活用した周知を展開する。

注目のご意見

のりーと津幡町HP



のりーと津幡の運行エリア拡大を要望する。また、予約手続きが難しく、なかなか利用できない。

議会の感想

今後も中山間地域の運行エリアを、拡大していく必要性は高いと考える。また、簡単で分かりやすい予約方法の周知徹底を。

刈安小学校の児童数が少ない。統廃合を考える時期に来ているのでは。

議会の感想

保護者がアンケートを取っていると聞いている。今後、地元と教育委員会との話し合いなどを注視したい。

防災無線が山に反響して聞こえず困っている。

議会の感想

すべてのグループで同様の意見があり、担当部署がこれらの意見を把握しているのか確認する必要がある。

参加者の声

防災

- ・避難所までの距離が遠い
- ・避難所の電気、空調の操作が分からない

高齢化対策

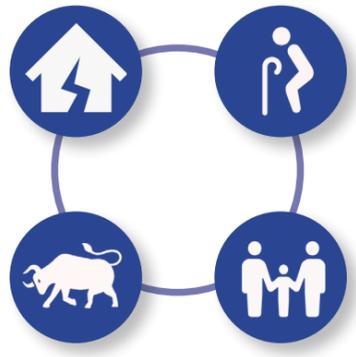
- ・高齢者が井戸端会議ができる場所がほしい
- ・移動販売車の復活を

地域の賑わい創出

- ・空き家を有効活用する具体的施策を示せ
- ・ぜひ大の里記念館の建設を
- ・IRいしかわの竹橋新駅の実現見込みは

定住促進・子育て支援

- ・学校給食費の無償化を実現してほしい
- ・結婚や出産の祝い金を手厚くせよ



中学生球児の夢を
叶えたい!

ベースボール クリニック



理事長 むらた たかと
村田 貴人

ずっと軟式球で野球を続けてきた中学3年生球児を対象に、高校生になっても戸惑わないために硬式球を使った野球塾を展開してきています。

これまでの19年間で、約1400人の受講生が高校野球の世界に飛び込んでいます。

甲子園球児やプロ野球選手になりたい、野球をずっと続けたい、野球を通じて人間として成長したいなど受講生の夢は千差万別です。

一人一人の夢にスタッフ全員で向き合っています。

Q これからどのような町になってほしいですか。

A クリニックでの合言葉は、スマイル。
これからも笑顔溢れる町でいてほしいです。

Q 津幡町の好きなスポットはどこですか。

A 鳥のさえずり、森の木漏れ日、そして爽やかな風。
牧歌的な空気感満載の津幡運動公園。



information

- 活動場所 津幡運動公園野球場
- 活動日時 7月～10月 土・日・祝日
夕方から
- 連絡先 ☎288-6480 (能崎)
NPO 法人金沢ベースボールクラブ

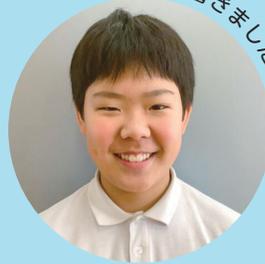
表紙の 風景



火牛の計
寿永2年(1183年)の倶利伽羅源平合戦で、木曾義仲率いる源氏軍は約5000頭の牛の角に松明を付け、4万余騎の軍勢とともに平家の陣に突入したと伝わっています。
故事を再現した火牛の像が古戦場に2体、倶利伽羅駅に2体、道の駅に1体(表紙の写真)あり、観光客の目を楽しませていきます。
津幡町のゆるキャラカーくんとモーちゃんも火牛がモデルになっています。

表紙の 題字は

川安小学校6年
川村 皇生さん
の作品です



題字を書きました

川安小学校のいいところは、みんなの仲が良いことです。人数が少ない分、ぎすぎすが深いです。
毎年、音楽会に全校児童で参加しています。今年も倶利伽羅峠の歌を元気いっぱい歌いました。
伝統を受け継ぎ、立派な川安小学校を守ってきたいです。

12月会議

12月4日(水)
午後1時30分～

傍聴受付日時

- 12月4日(水) 午後0時30分～ 提案理由の説明
- 12月5日(木) 午前9時～ 町政一般質問

受付場所

役場庁舎4階 傍聴受付

議会を傍聴
しませんか



日程は変更になる可能性があります
詳しくは、町議会HPをご覧ください
(問合せ先) 議会事務局 ☎288-6410

